

令和7年度第1回大野城市上下水道事業運営審議会 会議録	
日 時	令和7年8月28日(木) 14:35~16:10
開催場所	市役所本館3階 災害対策本部室
出席者	審議会：広城会長、大賀副会長、小原委員、安倍委員、岩下委員、釘崎委員、河波委員 以上7名 上下水道局：原田上下水道局長、白石企業総務課長、江崎料金施設課長、川畑上下水道工務課長 他7名(係長、担当) 以上11名
欠席者	なし
傍聴者	なし
議 事	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水源状況について ・ 水道管・下水道管の全国的な事故頻発を受けて ・ 令和7年度大野城市上下水道事業会計予算について ・ 第4次中期経営計画の令和6年度実績報告及び令和7年度事業計画について
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 第5期大野城市上下水道事業運営審議会委員名簿 ・ 【資料①】 令和7年度大野城市水道事業会計予算の概要 ・ 【資料②】 令和7年度水道事業予算書 ・ 【資料③】 令和7年度大野城市下水道事業会計予算の概要 ・ 【資料④】 令和7年度下水道事業予算書 ・ 【資料⑤】 第4次中期経営計画主要事業管理一覧表(R6~R10) ・ 【資料⑥】 水源状況について ・ 【資料⑦】 水道管・下水道管の全国的な事故頻発を受けて ・ 【資料⑧】 令和7年度当初予算の概要

◇令和7年度第1回大野城市上下水道事業運営審議会

- 1 開会あいさつ（原田上下水道局長より）
- 2 会長及び副会長選出
- 3 会長及び副会長あいさつ
- 4 委員自己紹介
- 5 事務局職員紹介

【議事】

6 水源状況について（資料⑥）

本市の水源や関連ダムの貯水率等について説明。

○質疑等

（委員） 筑後川からの福岡導水は、災害対策として併設水路による複線化を進めるなど、独立行政法人水資源機構もよく取り組んでくれている。

7 水道管・下水道管の全国的な事故頻発を受けて（資料⑦）

本市の水道管・下水道管の点検状況及び緊急点検の結果等について説明。

○質疑等

（委員） 緊急点検において、交通量の多い箇所は今回実施をしていないとのことだが、今後実施の見込みはあるのか。

（市） 今回は緊急点検ということで職員のみで目視点検を実施しており、交通量の多い車道上にあるマンホール等を開けるのは危険であるため実施を見送った。通常の点検時には、交通量の多い箇所も委託業者が実施している。

（委員） 目視点検ではどこまで確認ができるのか。

（市） 今回の緊急点検では、マンホールから降りて、地下管路の行けるところまで近づいて点検を実施した。見える範囲での流下状況や堆積物の有無等を確認した。

（委員） カメラ等で管路内を調査することはできないのか。目視点検では限界があると思うが。

（市） 今回はあくまでも緊急点検としてマンホールから目視点検を実施した。計画的な点検においては、テレビカメラによる点検を実施している。

（委員） マンホール蓋を開けた時に、硫化水素臭がする箇所はなかったか。

（市） マンホール内は、有害なガスが発生する可能性があるため、入る前に、ガスの検知を行い、また、検知器を持って中に入るようにしている。

8 令和7年度大野城市上下水道事業会計予算について（資料①～④、⑧）

令和7年度予算について、水道、下水道の順番で説明。

○質疑等

- （委員） 水道事業の収益的収支において、令和7年度は有収水量が前年度より増となっているのに、水道料金は減となっているのはなぜか。
- （市） 予算算出方法を予算ベースから決算ベースへと見直したことにより、見込額が下がったものである。
- （委員） 令和7年度は、大規模な除却が発生するとのことだが、今後、このような除却が発生する見込みはあるのか。
- （市） 水道施設再編更新事業の影響で、令和7年度・令和8年度は大規模な除却が発生する予定である。
- （委員） 中期経営計画では、令和7年度は除却の影響で損失が出るという見込みだったが、実際には、損失は出ないということか。
- （市） 損失は出ない見込みである。工事の進捗等の影響により、令和7年度に予定していた除却の一部が令和8年度に後ろ倒しになっている。
- （委員） 水道事業の資本的収支において、前年度より建設改良費が減ったのはなぜか。
- （市） 水道施設再編更新事業が令和8年度にずれ込んだため、令和7年度の建設改良費が減となっている。

9 第4次中期経営計画の令和6年度実績報告及び令和7年度事業計画について（資料⑤）

各主要施策23項目について、令和6年度の実績及び令和7年度の事業計画を主要施策の順に担当係長が説明。

○質疑等

- （委員） 配水管等整備更新事業において、整備管路延長が令和6年度の計画値を下回っているが、この状況で目標値を達成することは可能なのか。
- （市） 資材の高騰により予算が不足したこと、また、令和7年1月策定の上下水道事業耐震化計画に基づき、当初予定していた路線とは違う路線の更新を行ったことにより、令和6年度の計画値を下回る結果となった。現在、耐震化計画に基づく設計等を進めており、その中では、目標値の達成はできると考えている。
- （委員） 情報提供の充実において、実績値は出前講座9コマのアンケート

トの満足度の平均ということか。また、アンケートは全て子どもが回答したのか。

(市) 9コマ平均の満足度である。また、9コマ中1コマは大人対象だったが、8コマは子どもが回答している。

(委員) 「受講者数」でなく「満足度」が指標ということで、難しい話をしないなど工夫すれば数値は上がるかもしれないが、子ども対象でこの指標は大変だと思う。

【その他】

10 その他

事務連絡

11 閉会のことば（白石企業総務課長より）

以上